



次世代電動車いすで大学構内を巡る学生ら

次世代電動車いす体験

吉備
国際大生 地域活性化考える

次世代型の電動車いす

「WHEEL(ウィール)」を活用した地

域活性化策を考える産

学連携のワークショップ

が12日、吉備国際

大(高梁市)で開かれ

た。

ウィールは通常の電動

車いすよりも小型で、

手元のレバーで前進や

バック、回転などがで

きる。免許は不要。最

大5段階程度の段差を越

えることができ、最高

時速は6キロ。ワークシ

ョップには学生や教員

をはじめ、ウィールの販

売を担う岡山ダイハツ

販売(岡山市)、製造

元の企業(東京)から

計7人が参加した。

学生らはウィールに試

乗して大学構内を巡

り、エレベーターの乗

降や坂道での利用を体

験した。社会科学部3

年の下岡希空さん(21)

は「高齢の人や障害の

ある人に限らず、高梁

の城下町散策に役立つ

ぞつ」といい、フィン

ティ・タオニーさん

(23)「ベトナム出身」

は「操作は簡単。自由

に移動できるから便

利」と話した。

ウィールは、岡山ダイ

ハツ販売が今月初旬か

ら同大に3台貸し出し

ている。今後、各学部

の学生らが市街地など

で試乗し、介護福祉、

観光・まちづくり分野

での活用法などを探る

予定。(小川正貴)